

第8回

一

関

市

景

観

ま

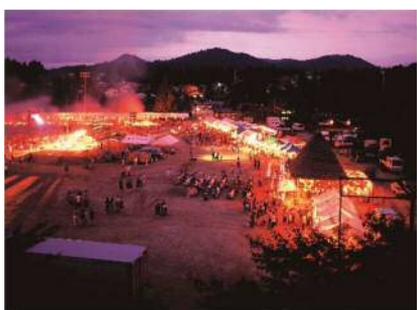
ち

づ

く

り

賞



令和元年度
一 関 市

一関市景観まちづくり賞について

一関市景観まちづくり賞は、一関市景観まちづくり条例第 23 条の規定に基づき、地域の魅力ある景観を守り育て、次世代へ継承するため、優れた景観形成に貢献している建造物等及び市民等の景観まちづくりに寄与する活動等を表彰し、それに携わる人々の努力をたたえることで、市民、事業者の景観まちづくりに対する意識の高揚と景観の質の向上を図るとともに、景観まちづくり活動を促進することを目的に行うもので、平成 22 年度からスタートした制度です。

一関市景観まちづくり賞

◆賞の選考・決定

一関市景観審議会委員で表彰対象を選考し、市長が決定

◆選考基準

- (1) 周囲の街並みや自然環境との調和を図り、地域の優れた景観づくりに寄与しているもの
- (2) 創意工夫、努力により優れた景観を創出しているもの
- (3) 歴史や文化が感じられ、地域に親しまれているもの
- (4) 景観づくりに対して先導的な役割を果たしているもの
- (5) その他景観まちづくりに特に寄与しているもの

◆景観部門

周辺景観と調和し、優れた景観の形成に寄与している建築物、工作物、外構、緑化、屋外広告物その他の物件又はこれらの複合体

※建築物等の完成年度、工法は問わない

◆まちづくり活動部門

継続的に地域の特性を生かした良好な景観の創出や保全などを行い、景観形成に貢献していると認められる活動を主体的に行っている個人又は団体

※概ね 3 年以上継続して活動しているもの

◆募集期間

第 8 回（令和元年度）平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 5 月 31 日まで

◆応募状況

- ・景観部門 3 物件
- ・まちづくり活動部門 1 活動

◆景観部門受賞物件

名 称	所在地	用途	事業主	設計者	施工者	完成年
株式会社京屋染物店	大手町 7-28	店舗	株式会社京屋染物店	有限会社チジョウ建創設計事務所	株式会社佐々木組	平成元年
和とわ 総本店	田村町 1-25	店舗	株式会社和とわ	一級建築士事務所 K・ササキ+M・トクモトデザイン	株式会社東京店装	平成30年
古民家ステイ&カフェ 栗駒茶屋	巖美町若井原 162-3	店舗	株式会社イーハトーブ東北	建築設計おばら事務所	株式会社平野組	令和元年

◆まちづくり活動部門受賞活動（敬称略）

名 称	活動主体	活動場所	活動歴
四季折折楽しめる「華ロード」づくり	赤猪子を美しくしたい。 代表 石川 幹雄	一関市萩荘字赤猪子	約 26 年間

◆景観部門

○株式会社京屋染物店

岩手県南の城下町「一関」、今年で100周年の染物屋です。都市計画で建替えられた際も、地域の景観や歴史的背景に合うデザインにこだわり、隣の浦しま公園を借景とし開放感のあるエントランスとなっています。

街並みに溶け込んだ建物、隣の浦しま公園の庭を借りて、一体感を創出している建築物であると高く評価されました。

受 賞

事業主：株式会社京屋染物店

設計者：有限会社チジョウ建創設計事務所

施工者：株式会社佐々木組



○和とわ 総本店

和を感じられ、趣がある凝った建物、一関にある建物として変化があり京風な建物。図書館、文化センター近代的な所に柔らかい和の建物で、以前受賞した建物とうまく合うように、地域の新しい雰囲気を出している建築物であると高く評価されました。

受賞

事業主：株式会社和とわ

設計者：一級建築士事務所 K・ササキ+M・トクモトデザイン

施工者：株式会社東京店装



○古民家スティ&カフェ 栗駒茶屋

以前あった自動販売機、看板も無くなり、色も周辺の自然環境を配慮し、外壁の材料も、板張りで景観上配慮された古い建物を今の時代に合うようデザインされた建築物であると高く評価されました。

受賞

事業主：株式会社イーハトーブ東北

設計者：建築設計おばら事務所

施工者：株式会社平野組



◆まちづくり活動部門

○四季折折楽しめる「華ロード」づくり

北海道や大阪など、多くの学校が参加し一緒になって地域の景観をメンテナンスしながら育てている。人口減少社会の中でのモデルとして、交流人口をうまく絡めながら地域づくりをする活動が高く評価されました。

受賞 赤猪子を美しくしたい。



◆一関市景観審議会会長からのメッセージ

北原 啓司

今回の景観部門では、とても良いものが揃っていたと感じました。

「株式会社京屋染物店」は、覚悟がいるのですが、隣の浦しま公園を借景としてうまく利用しながら、地域と溶け込んでいる景観として良いと思います。

「和とわ 総本店」ですが、以前に景観賞をとった近くの亀の子せんべい本舗の建物とうまくマッチングし、地域に新しい雰囲気を出すよう作られて、リフォームというバージョンで、今のストックを活かす新しい景観という良いポイントで作られているのかなと思います。

「古民家スティ&カフェ 栗駒茶屋」ですが、古い建物を今の時代に合うように作られ、自然をうまく取り入れているなと思います。

ストックをうまく生かしていこうという時代、地域に新しい景観を創出しながら、一関の歴史的な街並みを守っていきながらも、新しい事にチャレンジしていくのが期待できると思います。

まちづくり活動部門「四季折折楽しめる「華ロード」づくり」ですが、地域の子供たちが減っていく中で、ニューツーリズムで、来た方々に協力してもらおう新しいタイプ。ホームステイで来て、景観づくりに関係するのは、なかなかないので、そういった活動は、新しい都市と農村の交流だと思っています。

○一関市景観審議会委員名簿（選考委員）

会長	北原 啓司	弘前大学大学院地域社会研究科 研究科長
職務代理	三宅 諭	岩手大学農学部准教授
	菊池 薫	一関市文化財調査委員
	阿部 新一	一関商工会議所専務理事
	佐々木 賢治	(一社)一関観光協会会長
	村上 恵志	(一社)岩手県建築士会一関支部副支部長
	鈴木 寿和	(一社)岩手県建築士会千厩支部理事
	菊池 泰一	大東支所推薦
	及川 達雄	室根支所推薦
	鈴木 泰彦	川崎支所推薦
	深渡 義哲	国土交通省岩手河川国道事務所計画課長
	澤田 仁	岩手県県土整備部都市計画課まちづくり課長
	木村 賢司	県南広域振興局土木部一関土木センター建築指導課長
	原田 哲	まちづくりスタッフバンク
	高橋 系子	まちづくりスタッフバンク



一関市建設部

都市整備課

〒021-8501

一関市竹山町7番2号

TEL(0191-21-2111)